



TICAD8 SIDE EVENT

アフリカにおけるプラネタリーヘルス： 長崎大学から世界への貢献

概要

長崎大学は1964年に初めて教員をアフリカに派遣し、以来半世紀以上にわたって継続的にアフリカ医療に関わってきました。現在はケニアに海外拠点を持ち、「Planetary Health」を掲げ、環境や社会の発展にも協力の幅を広げようとしています。本シンポジウムでは、長崎大学とアフリカの研究機関の間で実施してきた様々なプロジェクトを振り返り、今後「Planetary Health」を実現するために何が必要か、どのような協力が可能か議論します。

日時：2022年9月28日（水）15:00-19:00（日本時間）

場所：オンライン

使用言語：英語

参加登録：<https://forms.gle/N9DHsnwxaMaXKjmX9>



プログラム

オープニングセッション 15:00-15:20

冒頭挨拶：河野茂 長崎大学学長／大石 賢吾 長崎県知事

特別講演 15:20-15:40

タブ イリナ駐日ケニア大使

基調講演 15:40-16:00

渡辺知保 長崎大学学長特別補佐
「プラネタリーヘルスはどのようにして実現できるか？」

本セッション 16:00-18:00

報告者1：板山朋聡 長崎大学大学院工学研究科教授
「アフリカ諸国のための排水および湖水の浄化システム」

報告者2：エリック・オジェロ マセノ大学
「ケニアの食料安全保障と社会経済発展における養殖の可能性」

報告者3：西川貴文 長崎大学大学院工学研究科准教授
「JICAおよび協力対象国との相互協力によるインフラ維持管理の強化」

報告者4：モハメド・カラマ ウンマ大学
「プラネタリーヘルスの構成要素としての社会・健康制度に関する考察：ケニアを事例として」

報告者5：増田研 長崎大学多文化社会学部准教授
「脆弱な人びとを誰がケアするのか？：社会的保護と生活規範の橋渡し」

パネルディスカッション 18:00-18:55

クロージング・セッション 18:55-19:00

閉会挨拶：多田彰秀 学長特別補佐（国際交流担当）／グローバル連携機構副機構長

【司会進行】森保妙子グローバル連携機構助教



長崎大学のプラネタリーヘルスへの取り組みはこちらのHPをご覧ください。

